



むたやま

久留米市立牟田山中学校通信

令和5年2月8日(水) No.11 文責:近久雅男

地区新人駅伝大会で大健闘！！

1月18日(水)に大牟田市の諏訪公園周回コースで、筑後地区中体連新人駅伝競技大会が男子34校、女子35校の出場で開催されました。本校は男子が4位、女子が6位、男子第5区で岩本哲煌さん区間1位、第6区で岩田涼尚さん区間3位、女子第1区で今村ひかりさん区間1位と大健闘しました。男子は2月11日(土)に北九州市の本城公園周回コースで開催される福岡県中体連新人駅伝競技大会に出場します。健闘を祈ります。



新入生説明会をオンライン開催

1月18日(水)に次年度の入学生に向けた新入生説明会を開催しました。牟田山中学校の新入生は、主に南小学校と津福小学校からになりますが、その他の小学校から入学予定もあり、現在のところ220名入学の予定です。

今年度の新入生説明会は新型コロナウイルスのオミクロン株による感染状況を鑑みて、オンラインで実施しました。新入生説明会では教職員から入学に際しての必要な説明と、生徒会執行部からスライドによる制服・体操服・1日の生活・部活動紹介を行いました。教職員、生徒共々、4月の新入生の皆さんの入学を心待ちにしています。



久留米市中学校美術作品展開催



1月19日(木)から1月27日(金)まで久留米市中学校美術作品展が久留米市美術館で開催されました。本校からは、抽象彫刻、抽象図形、バンクシー風の共同作品を出品しました。抽象彫刻では生徒がテーマを決め、画用紙の土台の芯の上に和紙で形を作り絵の具で色を付けました。大変、興味深い作品が多く展示されていました。

避難訓練を実施



1月27日(金)に避難訓練を実施しました。今回の避難訓練は、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、オンラインで実施しました。避難経路の確認、災害時の対応、阪神淡路大震災・東日本大震災の当時の様子を振り返りました。

時の流れは早く、阪神淡路大震災から28年が経ちました。1995年1月17日5時46分マグニチュード7.3の地震が発生し、建物の倒壊や大規模な火災により、兵庫や大阪を中心に多大な被害が発生し犠牲者が6400人をこえる大惨事となりました。朝を迎えて次

々にTVで流される映像が、これまで見たことのないような被害状況だったことを鮮明に覚えています。2011年に東日本大震災、その後、北部九州の豪雨被害、令和2年豪雨災害など災害がとても身近で、怖い存在となっています。宮城県石巻市では、東日本大震災で児童108名中74名が亡くなるという悲しいできごともありました。様々な災害について忘れないことや災害に備えて自宅でも備蓄や避難先の確認を行うなどの備えも必要だと感じます。

男子バレーボール部 県新人大会出場

1月21日(土)に新宮東中学校で福岡県新人バレーボール競技大会が開催されました。1回戦で敗れましたが、優勝候補相手の大健闘の戦いでした。



男子バスケットボール部 県新人大会3位

2月4・5日(土・日)に福岡県立スポーツ科学情報センターで福岡県新人バスケットボール競技大会が開催されました。健闘の結果、ベスト4に進出しました。準決勝の試合は惜敗しましたが、今大会は最後の夏の大会に繋がる重要な大会です。この経験を是非、夏の集大成に繋げてください。



人権作文コンテストで表彰！！



2月2日(木)に3年5組の財津心美さんが人権作文コンテスト福岡県大会久留米協議会部門において久留米協議会賞を受賞しました。当日は久留米人権擁護委員協議会長の西村英治会長より財津さんに賞状が授与されました。人権作文コンテストを通して人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることができたか、皆さんも自問自答してください。

受験は団体戦 3年生頑張ろう！！



年が明け、私立高校の入試が本格的に始まりました。保護者の皆さんが中学生の時と比較して、入試制度や高校の様子も大きく変化しました。私立高校の入試が、専願・推薦入試と一般入試となり、一般入試が前期と後期となりました。公立高校で特色化選抜入試という制度も入り、新しくなりました。以前は、普通科と工業科・商業科等だった学科が様々な学科に変更になりました。

生徒たちは、色々な学科やコースから自分に興味のあるものを選んで受験を行っています。受験結果の通知も届いています。2月1日(水)に筑後地区私立前期入試、2月3日(金)に福岡地区私立前期入試、2月7・8日(火・水)に公立高校推薦入試があり、3月7・8日(火・水)の公立高校一般入試と続きます。

3年生の最後の頑張りを、学校全体でしっかり応援していきます。「受験は団体戦」最後まで頑張りましょう！

あとがき

私が大切にしている、言動の指標としている「得意淡然、失意泰然」という言葉があります。ものごとがうまくいって得意なときほど、その喜びに溺れておごらず有頂天にならず、むしろ淡々と事に当たる。反対に、ものごとがうまくいかないとき、落ち込んだときには、焦らず落ち着いてゆったりと構えて苦しみに沈み込まないという意味です。長い人生です。うまくいくときも、いかないときも必ずあります。自分を信じ、気持ちを強く持って「得意淡然、失意泰然」を心がけたいものです。